

乳幼児アレルギー疾患患者の実態把握について

資料 4

R8.02.03 令和7年第2回岩手県
アレルギー疾患医療連絡協議会

【目的】

- 岩手県内の乳幼児のアレルギー疾患患者の実態を経年的に把握し、アレルギー疾患対策を推進するための基礎資料とする。
- 市町村は食物アレルギー児を把握し、母子保健施策の充実に役立てる

【調査の概要】

- 対象 : 3～4か月児、1歳6か月児、3歳児の乳幼児健診対象児
- 項目 : 食物アレルギー疾患患者の実態
- 方法 : 現行の乳幼児健診の質問紙に食物アレルギーの診断に関する項目として**新たに1項目追加**
- 特徴 : 「乳幼児健診情報システム<岩手県版>」を活用することで、毎年、県及び市町村別にモニタリングが可能

【調査票の設問・選択肢】

	設 問	選 択 肢	対 象 者		
			3・4ヶ月	1.6歳	3歳
現 行	食物アレルギーについて気がかりなことがありますか。	1.はい、2.いいえ、9.無回答	○	○	
追 加	現在、お子さんは、 <u>医師から「食物アレルギー」と診断されていますか。</u>	1.はい、2.いいえ、9.無回答	○	○	○

【市町村におけるアンケートの具体的活用例】

- 市町村内の食物アレルギー児患状況の実態把握とモニタリング
- 乳幼児健診時における保健指導・栄養指導の充実
- 食物アレルギーに関する事業の企画等、母子保健施策の見直しや研修内容の改善・充実

【今後のスケジュール】

- 市町村への周知:
 - (1) 令和8年1月29日
健康国保課及び子ども子育て支援室から
各市町村母子保健主管課宛て事務連絡
 - (2) 令和8年3月中旬頃
保健福祉部長から市町村長宛て正式通知
- 調査開始時期:令和8年4月(原則)
- 結果公表時期:令和9年12月見込